



自立・協働の まちづくりに向けて

市長新年の
あいさつ

大崎市長 伊藤 康志

新年あけましておめでとうござ
います。

市民の皆様には、希望に満ちた
新春を健やかに迎えのこと、
心からお慶び申し上げます。

昨年の三月三十一日、一市六町
が合併し、新生「大崎市」が誕生い
たしました。この間、私も初代市
長として、無我夢中で走り続けて
まいりました。おおさきブランド
戦略会議や移動市長室、各種イベ
ントなどを通じて、多くの市民の
皆様から貴重なご意見を頂戴し、

川が形成する肥沃な大崎耕土に位
置する大崎市は、鳴子温泉地域か
ら鹿島台地域まで距離にして約八
十キロメートル、面積で約八百平
方キロメートルと長く広い地形で
あります。そして、この中には多
種多様な地域資源と素晴らしい人
的資源を有しております。それぞ
れの地域が持つ歴史、文化、資源を
活用し、大崎市の未来への道筋づ
くりを果敢に挑戦してまいります。

昨年、鹿島台商業高校の生徒さ
んたちが市内を回り、自分たちの
足と目で宝を探し出し、「まるごと
大崎体験と名湯・鳴子温泉」として、
市外の人たちを二日間にわたって
ご案内しました。さらに、十一月
に鹿児島県で行われた「全国高校
生徒商業研究発表大会」でこの事例
を発表し、優良賞を受賞しました。
大崎市に誇りを持ち積極的に売り
出すこと、これを私たちも学ばな
ければなりません。

平成二十年には、JR等が主催
する「仙台・宮城・デスティネーショ
ンキャンペーン」が展開されます。
これは、全国のJRと一緒に宮城
県を売り出す企画であります。本
市もいち早く推進室を立ち上げ、専
任職員を配置し準備に取りかかっ
ています。大崎市を全国的に売り

市内の豊富な宝や素材、資源を再
発見することができました。市民
皆様をはじめ、関係皆様の力強い
ご支援・ご協力に感謝申し上げま
す。

明けて新年は、総合計画をはじ
め産業振興計画、地域福祉計画、行
政改革大綱、財政健全化計画など、
さまざまな計画樹立の年となりま
す。これらの計画に基づいて、「住
んでよし」「働いてよし」「育てよ
し」「訪れてよし」の魅力のあるま
ちづくりを進めてまいります。

江合川と鳴瀬川、二つの母なる
込む絶好の機会であり最大のチャ
ンスです。

少子高齢化、人口減少社会を迎
える中で、自立したまちづくりを
進めるためには、交流人口、そして
定住人口を増やす攻めの戦略が必
要であります。

大崎市の恵まれた自然や資源に
磨きをかけ、既存産業に付加価値
を加え、新産業を育成・誘致し、二
十万人都市構想の礎を築くことに
不退転の決意と気概を持って取り
組んでまいります。

大崎市は、各地で開催された祭
りや各種行事など、多くの新たな
出会いと交流で、統一性や一体感
も徐々に醸成されてまいりました。
今後は、自立と協働の理念のもと、
市民総参加の感動を奏でるまちを
創ってまいります。

今年の干支は亥(猪)。勇気と行
動力の象徴であり、障害を乗り越
えて幸運をもたらすと言われてお
ります。私も、市民皆様の幸せを
第一に考え、今年も元気に走り回
りますので、改めてご理解とご協
力をお願いいたします。

今年一年、皆様のさらなるご健
勝とご多幸をお祈り申し上げます。年
頭のあいさつといたします。



今年も皆さんとお会い
することを、楽しみに
しています。